

第14話 受験までのスケジュール高校入試

さて、中学入試からおよそ1カ月遅れで、高校入試が始まります。小学生の合格速報に気合を注入されながら追い込みですね。

1関東では桐光学園や桐蔭学園から入試が始まる子が多いでしょうか。法政大学女子などは、12月に第1回試験がありますね。そして1月の最後に青山学院があり、2月の早慶へ突入という感じです。各学校については別記事を参照していただくとして、今回は出願について見てみましょう。

中学入試よりも提出物が多く、何より学校によって手続き方法がバラバラです。いくつかの学校を系統別に並べてみました。

【帰国生認定が必要な学校】

・国際基督教大学高校（4月入学）

11/30までに資格認定をweb経由で行う。9月入学生の資格認定が終わり、10月ごろから受付が始まる。特に日本企業の駐在でない場合、海外での雇用証明等を認定期日までに別途郵送する必要があるため、早めの手続きを。帰国日決定が期限日以降の場合でも相談により受け付けてもらえるが、願書受付日を過ぎた試験は受けることが出来ない。

推薦入試は願書受付が12/26~30、書類選考が11/6~11、学科試験は1/26~30で、いずれも郵送必着。試験日はそれぞれ12/15、1/25、2/10。また、願書は海外送付もしてくれる。

・中央大学杉並高校

12/20までにweb経由で受験資格チェックを行います。登録したメールアドレスに確認番号が届くので、それを願書に記入。出願書類は1/5~1/16までの消印で郵送。試験日は1/23。願書は説明会や学校窓口で受け取る必要あり。

・早稲田大学本庄高校

出願自体は1/16~1/26の消印有効だが、9/1~12/16必着で、学歴記入票を郵送する必要がある。その後、1ヶ月ほどで認定結果が送られてくる。学歴記入票はダウンロード可で、願書も海外送付をしてくれるのがうれしい。出願期間は1/16~1/26の消印で郵送のみ受付。試験日は2/9。

・早稲田大学高等学院

11/1~11/30必着で学歴票や在留証明書類を送り、12月中に認定結果が届く。係る書式はダウンロード可能。出願は1/25~30の消印で郵送のみ受付。しかし、願書は国内のみの郵送なので、入手するには代理人が必要。試験日は2/11。

【インターネット出願の学校】

・桐光学園

12/10~1/3の間にホームページから出願。それと共に、調査書を同期間中に郵送する必要がある。試験日は1/5。

・桐蔭学園

12/10~1/8にホームページから出願。その他、志望理由書や検定証などを12/10~1/10必着で郵送か、窓口受付日に持参する。書類はすべてダウンロード可能なので便利。試験日は1/11。

【一般的な書類出願の学校】

・青山学院高校

願書は国内のみに郵送販売。1/9~10の消印で郵送か、1/11に窓口を持参する。試験は1/31。

・慶應大学志木高校

願書は国内のみに郵送。1/6~16消印有効の郵送出願のみ。試験日は2/7

・慶應義塾高校

願書は国内のみに郵送。12/20~1/12郵送必着で出願し、試験は2/10。

・慶應義塾女子高校

こちらも願書は国内のみに郵送。12/1~1/11郵送必着で出願し、試験は2/10。

・早稲田実業

同じく願書は国内のみに郵送。1/25~1/27必着で郵送か、窓口持参でもOK。

必着に間に合わせるため、集配局まで車を飛ばしたり、窓口の局員さんに「今日の消印で」と頼んだり。就職活動などでは「あるある」ですね。もちろんそんなことにならないよう、早めの準備が大事です。

個人的には、早くすべての学校がweb出願に対応して欲しいところです。調査書をPDFで...とは中々ならないと思いますが、せめてその他の書類をダウンロード出来るようになれば楽ですね。まず、願書の取り寄せが大変ですので。

さて、調査書といえば出願に関する事で一番の不安材料でしょうか。毎年相談を受けます。中3の途中で帰国するとまともな評定が出ない、という問題です。しかし、それは受験先の学校も承知の上です。そのようなケースは毎年ありますし、そんなことで優秀な帰国生を逃す訳にはいきません。本番の点数勝負なので、気にすることはありません。

だからといって、帰国後の学校をサボタージュはいけませんよ。評定で「2」の取っていないことが条件も学校もありますので。（何もしなくて「3」、提出物や宿題をサボると「2」、「1」は...）滞在先での成績は大事にしてください。それこそが、みなさんの経歴の証明になるのですからね。

またICUのように、学校によっては成績書類に「厳封」を求めるところがあります。何も言わなければ、現地校でやってくれない可能性大なので、気をつけてください。

受験までのスケジュールと言いながら、手続きのことでいっぱいになってしまいました。まあ、調査票の記入や志望動機も時間が取られますので、これまでに勉強は形をつけておくスケジュール、ということ。

著者：谷口 仁

Oct 10 2016